

## 戦いの日本史 第二巻

### 南北朝～室町時代の戦い

#### 目次概略

- 1 南北朝時代の戦い
- (1) 建武新政権に対する反発と南北朝の並立
- (2) 南北朝の抗争―中央と地方の抗争
- (3) 観応の擾乱とその余波
- (4) 南北朝合一
- 2 室町時代の戦い
- (1) 幕府による幕府・守護体制の強化
- (2) 幕府と鎌倉府の対立
- (3) 幕府による地方統制力の低下
- (4) 幕府・守護体制の動揺
- (5) 東西の大乱―東の「享徳の乱」、西の「応仁の乱」
- (6) 戦国乱世への序奏



## 戦いの日本史 第三巻

### 戦国時代前期の戦い

#### 目次概略

- 1 戦国時代の到来―区分と特色
- 2 東北
- 3 関東
- 4 中部
- 5 畿内近国
- 6 四国
- 7 中国
- 8 西国



## 戦いの日本史 第四巻

### 戦国時代中期の戦い

#### 目次概略

- 1 東北
- 2 関東甲信越
- 3 中部
- 4 畿内四国
- 5 中国
- 6 九州



## 建

武新政権に対する反乱討伐の過程で足利尊氏が新政権から離脱し、やがて南朝方（宮方）と北朝方（武家方・幕府方）に分かれて抗争し、その流れは地方にも及んだ。この抗争は次第に北朝方（幕府方）が優勢となっていたが、やがて幕府は尊氏方と直義派に分裂して抗争する「観応の擾乱」を迎え、その影響は長く続いた。擾乱を鎮静化させた幕府は、各地の南朝勢力を抑え、南北統一を果たした。こうして名実ともに室町時代を迎えたものの、幕府の統治力は間もなく低下し、鎌倉府との対立、地方統制力の低下とともに幕府・守護体制は次第に動揺し、やがて関東での「享徳の乱」と、畿内から全国に拡大した「応仁の乱」などによって幕府の統制が及ぶ地域は益々狭まり、十五世紀末に幕府・守護体制は実質的に崩壊した。

## 戦いの日本史 第五巻

### 戦国時代後期の戦い

#### 目次概略

- 1 織田信長の戦い―天下布武
- (1) 信長の上洛
- (2) 元亀年間の危機
- (3) 第一次信長包圍網との戦い
- (4) 第二次信長包圍網との戦い
- (5) 各方面の信長派遣軍の戦い
- 2 豊臣秀吉の戦い―天下統一
- (1) 信長の後継者
- (2) 天下統一
- 3 文禄・慶長の役
- (1) 朝鮮出兵に至る経緯
- (2) 文禄の役
- (3) 慶長の役
- (4) その後の講和交渉



## 戦いの日本史 第六巻

### 江戸時代の戦い

#### 目次概略

- 1 関ヶ原の戦い
- 2 幕藩体制の確立
- 3 元和偃武
- 4 幕藩体制の動揺
- 5 大政奉還
- 6 戊辰戦争



**長** く続いた戦国の世を終わらせるべく、天下統一に立ち上がったのが尾張の織田信長であった。信長は、永禄十一年（一五六八年）足利義昭を擁して上洛を果たして以降、次第に勢力を強め、周囲の反信長勢力を討伐し、中央部を支配下に収めて全国統一の道筋をつけたが、天正十年（一五八二年）六月に本能寺の変で明智光秀によって討たれた。その志を継いだのが信長の家臣の一人羽柴秀吉であった。秀吉は、家康とは戦いの後に講和して信長の後継者としての地位を固め、全国統一を果たした。さらに秀吉は、明国への侵攻を企図して朝鮮に出兵した。この出兵は、文禄元年（一五九二年）から翌二年の文禄の役と、その後の講和交渉決裂によって慶長二年（一五九七年）に再攻した慶長の役の二度に及び、慶長三年の秀吉の死を受けた日本軍の撤退をもって終結した。

**関** ヶ原の戦いで勝利した徳川家康は、征夷大将軍の宣下を受けて江戸に幕府を開き、諸制度を制定して幕府と藩が土地と人民を統治する幕藩体制を確立した。慶長十九年（一六四四年）・元和元年（一六一五年）の二度にわたる大阪の役が終わると、長い間の戦乱が終わったとの意味で「元和偃武」と呼ばれたが、その後も島原の乱や慶安の変などの戦いは起こった。やがて幕藩体制が次第に動揺を表すようになり、十八世紀末以降外国船の来航が続き、安政元年（一八五四年）の米国ペリー艦隊の来航による開国要求以降は、公武合体、攘夷運動を巡って幕府は弱体化を呈し、やがて倒幕運動の高まりの中で幕府は大政を奉還した。だが倒幕派は武力討幕を敢行し、鳥羽・伏見、江戸、長岡、会津そして函館などの戦いで旧幕府方を制圧した。武士の世は終わり、明治新政府が発足した。

古代から戊辰戦争に至るまでの我が国で起きた様々な戦いについて明らかにする

国書刊行会

# 戦いの日本史

全六巻

元防衛大学校准教授の著者が

古戦場の現場を数多く渉猟し、

現地に伝わる伝承なども丹念に調査。

元自衛官ならではの視点で日本各地の

小規模な「戦い」まで網羅した、

最大級の戦争の日本史事典がここに刊行開始！

「平和を望むなら戦争について学べ。」

まずは我が国の戦いから。」



## 戦いの日本史 全六巻

各巻予価：22,000円（本体20,000円+税10%）  
【仕様】A4変型判・上製ケース入・各巻約840ページ（予定）

第一巻	古代～鎌倉時代の戦い	ISBN978-4-33606578-0
第二巻	南北朝～室町時代の戦い	ISBN978-4-33606579-7
第三巻	戦国時代前期の戦い	ISBN978-4-33606580-3
第四巻	戦国時代中期の戦い	ISBN978-4-33606581-0
第五巻	戦国時代後期の戦い	ISBN978-4-33606582-7
第六巻	江戸時代の戦い	ISBN978-4-33606583-4



※写真はイメージです。※デザイン仕様は変更になる場合があります。

国書刊行会 〒174-0056 東京都板橋区志村1-13-15 TEL: 03-5970-7421 FAX: 03-5970-7427 E-MAIL: info@kokusho.co.jp

帳合・書店印

### 申込書

この申込書で、  
最寄りの書店へお送りください。

国書刊行会『戦いの日本史』田中恒夫 著

ご注文申込の書名にチェック☑を入れ、部数をご記入ください（複数選択可）。

- 全六巻セット（部）
- 第一巻 古代～鎌倉時代の戦い（部）  第二巻 南北朝～室町時代の戦い（部）
- 第三巻 戦国時代前期の戦い（部）  第四巻 戦国時代中期の戦い（部）
- 第五巻 戦国時代後期の戦い（部）  第六巻 江戸時代の戦い（部）を申し込みます。

お名前

